昭和48年9月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行　阿知須町役場
電話１番・〒754―12
印刷　阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№.262

町の住民登録人口
（48年8月31日現在）　前月比
世帯　2,047世帯　＋1
人口　8.131人　＋6
（男3.830人　女4.301人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

（とじておくと便利です）

わたしの生きがい

70歳アンケート

九月十五日は〝敬老の日〟―これまで社会のため尽して来られた人々を敬い、これからも生きがいのある余生を送っていただこうというのがねらいです。
そこで、老人の生きがいはどんなところにあるのだろうか、企画係でことし七十歳を迎え、あるいは迎えようとされている人二十人にアンケートしてみました。そのうち八人ほど回答がありましたので、そのまま紹介します。

質問
❶あなたは、いま、どんなことに生きがいを感じておられますか
❷これから生きがいのある人生を送るためにはどんなこと（あるいは何を）望まれますか

阿知須校区　女

❶無資産、無収入の年寄りにとっては医療の無料化、老齢福祉年金制度に感謝し、一日も長く余生を送りたい。

❷物価上昇の折柄、一日も早く年金の増額と、年寄り専用の慰安センター等の設置を政府当局に要望し、余生のある限り楽しみ、笑いたいと思います。

阿知須校区　女

❶何も申し上げることはございません。むかしの年寄りにくらべると私たち今の年寄りは本当に幸せすぎると思います。今はただ、孫たちの無事成長を祈るのみです

❷お願いしたいことといえば、一年に一回、気兼ねなしの老人健康診査があればいいなあと思います
老人は何事があっても何時も留守番役です。あまり出歩くことがないので、一年に二回ぐらい弁当持参でハイキングができたらと思います。これが叶えていただけたら最高に幸せではないかと思います。

医療の無料化、年金に感謝

井関校区　男

❶健康で、自分の力で働けること。人に使われる身でなく自分の長年みがいた仕事ができること。孫の成長をみること。

❷同年輩のものと語り合うことができるとよい。老後に働けなくなった折、生活に困らないような福祉をより充実させてほしい。

井関校区　男

❶健康で家庭和合

❷老人は老人らしく。老齢年金は所得にかかわらず平等に支給してほしいと思います。

井関校区　女

❶家の手伝や農作業を行うこと

❷一人ものなので、年金をたくさんもらって、おいしいものを食べて、楽に生活ができるようになりたい。

阿知須校区　女

❶みな様にこころづかいしてもらってたいへんうれしくおもっています。

❷私はおてらや、おはかなど、まいりしょはどこでもまいりたくあります。又、よいおはなしや、おともだちと、いろいろおはなしするのがすきです。あまりとおくでなければ、おべんとうをもってバスでどこかへいくのがいちばんたのしみです。どうかよろしくたのみます。

阿知須校区　女

❶今まで長い間、貧乏の限りをつくし、やっとどうやら生きのびてきました。ようやく七十歳になり、今度、国や町のおかげで老人医療も只になり有難くお受けしました。この上は老人福祉のお金をもらい自分のお金として使いたいと思います。そして、皆と仲よく元気に余生を送りたいと思います

❷老人の年金が早くもらいたいです。長生きをしても、老人でもお金は必要です。この上は自分の金としての福祉のお金を少しでも多くもらえるよう国に望みます。

井関校区　女

❶身も心もまずしいこの私は、大きな大きなお慈悲（み仏、国家社会）の中に住まわしていただいております。私は本当に幸福者です。今日まで生かさしていただきましたことを深く深く感謝致します。
おほいなるもののみ手にいだかれて今日の一日を過ごすうれしさ

❷私は年なので働くことはできませんが、甘えてはなりません。できるだけ努力をして今日の一日を過したいと思っています。人生にはお互に幸、不幸があります。だから、よいところを自分が見出してよろこんでほしいと思います
老人はぐちっぽいですが、ぐちるより先きに、よいところを見出してよろこばれてはどうでしょう。ぐちるといやがられます。よろこんでみましょう。よいところがあります。お手を合わせましょう。

九十歳以上が九人

敬老会招待者は約六百人に

ことしの本町の敬老会に招かれる七十歳以上のお年寄りは五百九十三人（昨年より十八人増）です。
このうち（米寿八十八歳・明治十八年生まれ）を迎える人は四人九十歳以上九人です。
敬老会は昨年のように婦人会、青年団、白菊会、遺族会、青年同志会が出演します。
米寿の人には県知事から記念品が贈られますが該当者は次のとおりです。

戎谷　賢蔵	岡	
岡本　スミ	旦東	
縄本　坂市	小南	
杉永キクノ	旦北	
〔九十歳以上の高齢者〕		
西中　衛門	中村	96
田辺　カ子	岩西	95
原田忠之進	南祝	92
片山　ヤス	河内	91
村田　ハナ	恵比須	91
片山　マツ	河内	91
塚本　ヒテ	野口	90
吉谷　フミ	赤迫	90
古田　ワサ	東	90

善意はここに

〔社会福祉協議会へ〕
◇香典返し▽二万円＝重永義一さん（浜）は父武雄さんの▽五千円＝本永善正さん（浜表）は母フジ子さんの▽三万円＝野村靜泰さん（野口）は母キミヲさん▽三万円＝西田照夫さん（縄北）は父政之さんの▽二万円＝歳富士仁さん（浜）は父節雄さんの香典返しとして▽五百円＝杉史郎さん（飛石）は現金を拾い警察署に届けたところ落し主が判り、謝礼として五百円もらったのを寄付。
◇十万円＝吉南信用金庫（理事長白石与市さん）は、同金庫の創立四十周年記念事業の一つとして本・支店のある六町へそれぞれ同額を。
〔町へ〕
▽十万円　東京都吉祥寺・中野外科院長中野昭二さんは亡父保一さん（寺河内出身）の三回忌に当って寄付。町では中学校の教材オートヘッド（投写機）を購入し、学習に役立てることにしました。

咲いた！咲いた！サギソウが咲いた！

町が〝サギソウ〟の保護地区にしている町内杖川の湿地帯で、サギソウが純白の花をつけました。
この花は、白サギが羽根を広げたようにみえるため、この名がついたといわれ、ラン科の植物で小さく、清楚なところから盆栽愛好家に重宝がられています。
しかし、これが育つところが少なく、地方によっては天然記念物に指定したところもあるといわれます。
本町の場合、数年前までは八月下旬にはたくさん咲いていたようですが、心ない人の乱掘が続き年ごとに少なくなり、昨年、町教育委員会が保護するために柵をつくり、人が足をふみ入れないよう協力を求めてきました。
そのためか、昨年は咲かなかったのが、ことしは八月二十日ごろから約一週間、二十本ぐらい花がつき、これを見つけた人々の目を楽しませてくれました。

（写真上は見事に咲いたサギソウ、下は保護柵）

××××××××

キリン草は刈ろう

放っておくとさらに繁殖

ことしもセイタカアワダチソウ（別名キリン草）が黄色の花をつける時期が近づきました。
この花は花粉が多く、人ののどや目を痛めるといわれており、毎年、どこでも刈り取りにやっきとなるところですが、本町でも年々繁殖が広がっています。
このまま放置すれば来年はさらにふえるおそれもありますので、いまのうちに刈り取りましょう。
方法は種子ができるまでに刈取り、切株は掘起して枯らしたうえ焼却するのが効果があります。
いまは少しだからといって放っておくと来年はさらにふえるおそれもあります。少ないうちに取除くようにつとめましょう。
先月号でお願いしましたが、いま一度のお願いです。

お知らせ

循環器の疾患も無料で健康診断

四十～六十四歳まで

町では一般住民検診（レントゲン撮影）を今月三日から七日まで行っていますが、四十歳から六十四歳までで、この検診を受けられた人に限り無料で循環器疾患の健康診断をします。その人は今月十八日から二十一日までのいずれかの日にお出かけください。
日程は次のとおり

18日	井関小学校
19日	岩倉保育園
20日	東条公民館
21日	阿知須小学校

時間はいずれも午後一時半から三時まで。

心配ごと相談

町社会福祉協議会では、二カ月に一度の〝心配ごと無料相談〟と〝交通事故相談〟を九月十二日午前十時から午後三時まで開きます。
生活、家事、人権、児童、職業に心配ごとがある方はご利用ください。会場は役場です。

人の迷惑にならぬように設置を

雀おどしの爆音機

実りの秋が近づいて来ましたが雀が穂をいためるなどし、農家のみなさんには雀の活動が心配になる時期でもあります。
このため爆音機をおどしに使われる家も多いようですが、これを使われるときは次のようにご注意ください。
①道路の近くには設置しないこと（自動車がパンクと間違えることがある）
②日の出から日没ごろまで使用し、夜間はとめる（近所の人の安眠を妨げないように）
③付近に燃えやすいものがないところで使用（発火の際、火事にならないように）

28・29の2日間

映写機の技術講習

町公民館主催の十六ミリ映写機の技術講習会は九月二十八・二十九の二日間、午後七時から町役場で開かれます。
この講習会で、所定の講習を受け、試験に合格した人には、第一種映写技術検定証を交付します。
受講は誰でもできます。希望者は十五日までに町教育委員会へお申込みください。受講料百円、資料代百五十円。
なお、昨年、一昨年の講習会で資格を取得された方も更新のため二十九日午後六時から技術試験を行います。

お金貸します

中小企業の勤労者へ

山口県福祉基金協会では中小企業で働いている人のために生活資金や学資を貸付けます。
資金の使途は教育、療養、傷病冠婚葬祭、災害など、すぐ必要なものです。貸付額は最高三十万円で、二年以内に定額月賦償還。貸付利率は年五・二%です。
保証人は二人。そのほか山口県福祉基金協会の保証がいります。保証料は年一%。申込先は労働金庫（本町の近くは山口か宇部）です。

県美術展の作品募集

第二十七回山口県美術展が十一月九日から二十三日まで山口県立博物館で開かれます。
このため県では出品作品を募集しています。
応募作品は次のとおり▽一部日本画▽二部洋画▽三部彫刻▽四部工芸▽五部書道▽六部写真▽七部デザインの七部門に分れ各部とも自己の創作した新作品であること、応募点数は各部とも制限はありません。
出品料は一点が五百円。それ以上は一点ごとに三百円を追加。
搬入は十一月一日から三日まで山口市春日町八の二県立博物館第二十七回県美術展受付係へ。

９月の行事予定

11日	育児相談（後１～３時）
12日	心配ごと・交通事故相談（前10時～後３時）
14日	先天性股関節脱臼検診（後12時半） 青年文化教室（後７時半）
15日	敬老会（前10時半・阿中体育館）
18日	幼児学級（後１時半）
18～21日	循環器疾患健康診断（町内４カ所）
19日	豚コレラの予防接種
23日	ソフトボール同好会（阿中グランド）
26日	青年文化教室（後７時半）
27日	あじのす大学（後１時半）
30日	阿中運動会

〔会場の記入のないものは役場〕

録音盤

川に鯉を放して

小川康治（砂郷三）

〇−井関川への鯉の放流ですか？あれは誰が代表ということはなく、私たち小学校の同級生が何度か集るうちに盛り上った話です。といいますのは、ことしは阿知須小学校の百周年ですが、この学校の卒業生の中で、小学校六年間に戦前、戦中、戦後を体験したのは私たちの学年だけです。つまり、昭和十五年に入学、二十一年の卒業です。この貴重な体験をした私たちとしましては、年齢も四十歳になるし、この際、町づくりの礎になろうではないか、それには、小学校のころ遊んだ川をきれいにする意味で鯉を放流しようということになったわけです。

〇−鯉は六月の下旬に二回、三センチぐらいのを約七万尾、八月十六日には二十センチぐらいのものも含めて二万、合計九万尾ぐらい放したことになります。幸い、町内には同級生がたくさんおりますし、交際も広いのがいますので各方面にお願いして、実現したのです。

〇−鯉を放したために、子どもたちから川を奪ったという見方もありましょうが、とるなといわずに「可愛いがりましょう」という呼びかけをしています。もし、川に入って鯉を捕えたければ捕えてまた、川へ流してやっていただきたいと思っています。鯉を育てるということが、ひいては心のやさしい人たちを育て、きれいな郷土づくりを進めていく人たちがふえその輪が、次から次へと大きく広がっていくことを願っています。

（吉南信用金庫阿知須支店長）

食品テストに学ぶ

望月則子（飛石）

〇−テレビ山口の「県民のひろば」に出演させていただいたのは消費者の参加番組としてです。七月二十一日だったと思います。四月から県の消費者モニターをしていますので、その中から山口、小郡の人と一緒に商品テストを勉強させていただいたのです。

〇−清涼飲料のテストではどのくらい着色されているかをやってみましたが、白い毛糸を入れるとこれが色を吸収し、飲みものは透明になりました。驚きましたね、その点、果汁一〇〇%のものは変りません。

〇−みかんのかん詰など、むかしから「開けたらすぐ食べ」といわれていますが、これも開封してテストをしてみましたすると封をあけてわずかの時間で、かんの内側が黒く変色しました鉛や鉄分が酸化し、それが汁の中にとけ込むのです。だから開封したら早く食べるようにいわれているのでしょう。

〇−最近、公害公害といいますが私たち主婦も知らず知らずのうちに公害を出しているのではないでしょうか。洗剤がその一つです同じ洗濯をしても最初から洗剤を使うのと、一度予洗して洗剤を使うのとでは洗剤の使用料が違います。いきなり洗剤を使うのは最も多くいるし、水の汚れもひどいようです。

〇−勉強の機会を与えていただいたお陰で、日常生活の中での商品の知識や、効果的な利用法についていま一度、改めて考えるようになりました。これまでうかつに過ごしてきたことが悔まれます。

（主婦・栄養士）

公聴会も開きます

用途地域　意見があれば申出を

町では都市計画法に基いて用途地域を決める作業を進めてきましたが、この原案がまとまり、町都市計画審議会にはかったあと、今月三日から四日間、町内四カ所で説明会を開きました。

用途地域についてのくわしい説明は、八月下旬に『阿知須の都市計画』という印刷物を各戸にお配りしていますので、お読みいただいていることでしょうが、要はこれまで工場も商店も住宅も入り乱れて建てられていたのを、今後は生活環境をよくするために、建物の種類によって建設する地域の基準をつくろうというわけです。

そのために

①第一種住居専用地域②第二種住居専用地域（これらは住宅地としての環境保護をめざす）

③住居地域（工場、劇場、キャバレーなどは建てられないが店舗、事務所、病院などは建てられる）

④近隣商業地域（周辺の住民に日用品を供給する商業などの利便をはかる地域）

⑤商業地域（銀行、事務所、料理店など集り、商業業務ができやすいようにするところ）

⑥準工業地域（公害発生や危険物を扱う工場を除いてほとんどの用途の建物が建てられる）

⑦工業地域（学校、病院、ホテルなど除くいろいろな建物と工場が混っているところ）

⑧工業専用地域（工業を育成するにもっともふさわしい地域）

説明会のあとは公聴会を開いたり、一二週間の縦覧期間を設けて、この計画原案をみなさんにみていただくことになります。そして、意見があれば意見を出していただき、町や県の都市計画審議会にはかったうえ県知事の承認を得て決定することになっています。

町の都市計画審議委員は議会、学識経験者など十人で構成しています。

新しい地籍測量図を使う

今月から　岩倉、飛石、砂郷など

町では一昨年から・土地の国勢調査・ともいわれる「地籍調査」を進めていますが、初年度の作業が全部終了、九月一日から該当地域の登記関係事務は新しいもので処理することになりました。

該当地区は岩倉、飛石、砂郷と旦の一部です。つまり井関川より北側、しかも、中学校そばから八幡宮に通じる道路の東側に当る地域です。

この結果、測量図や（分間図）や面積は新しく測ったものを使用することになりますので、売買や分筆登記などをされるときはご注意ください。

他の地区も年次の作業が済み次第新しいものと取替えることになります。

砂郷が優勝

自転車競技大会

交通安全協議会主催の第一回自転車競技大会が八月二十二日阿知須中学校体育館で行われました。

これには町内の小・中学生や大人ら七人で編成した十八チームが参加、部落対抗で競いました。

方法は左右の確認はよいか、右折・左折の方向指示、発進、停車など確実に守られているかなど安全運転について小さなところまで審査、七百満点のうち砂郷Aが六百七十六点で一位、ついで小古郷B、東条の順でした。

（写真は自転車の競技風景）

子ども会ソフトボールも砂郷が優勝

第十五回町内子ども会ソフトボール大会（町子ども会連絡協議会町教育委員会、小中学校主催）は十五チームが参加し、八月七・八日の両日、阿中グランドで開かれました。

大会は好天に恵まれ、子どもらも、年一度の行事とあって元気な好試合を展開しました。

決勝戦は、砂郷子ども会と東条子ども会が対戦、13−3の大差で東条子ども会が優勝しました。

▽準決勝

砂　郷33−14縄　田

東　条7−5河内源河

▽決勝

東　条13−3砂　郷

佳作四点選ぶ

子ども会旗の図案

町子ども会育成連絡協議会では町内の子ども会のシンボルともなる子ども会旗の図案を募集していましたが、締切ったところ三十余点の応募がありました。

審査の結果、そのまま採用するような作品がなく、結局、佳作四点に手を加えて、その中のよいものを後日、採用決定することになりました。

佳作は次のとおり。

塩谷誠一（東）嶋元美須子（縄田南）福重道生（飛石）北山英夫（同仁病院内）

阿知須の魚は安心

水銀・PCBとも規制値以下

県公害規制課は六月に県下各地の魚介類に水銀やPCBがどのくらい含まれているか検査し、このほどその結果を発表しましたが、阿知須沖付近でとれたものはいずれも暫定規制値以下であることを明らかにしました。

水銀検査の対象となったのは汚染がひどいとみられるこのしろ、あなご、あさり、ぼら、たなごの五種類。しかし、ぼらとたなごは数が少なかったため、結局三種類でした。

その結果、阿知須沖に当る山口湾、秋穂湾、大海湾でとれたもの十一匹を検査したのでは総水銀値については

平均　〇・〇四　PPM

最高　〇・〇八

最低　〇・〇一

で総水銀暫定規制値〇・四PPMよりはるかに少ないことが判りました。

また、市販魚介類のPCB調査では阿知須、秋穂、山口地区の魚市場で、あなご、かれい、えび、あさり、このしろの五種類を購入し、日本食品分析センターで分析の結果、

平　均　〇・二

最　高　〇・五

最　低　〇・〇

でこれも暫定規制値（三PPM）より少ないことが判りました。

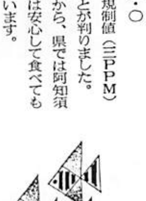
こうしたことから、県では阿知須秋穂地区の魚は安心して食べてもよいといっています。

〔注〕▽

▽PPM＝一立方メートル中に存在する物質ミリリットル数、または水一リットル中に存在する物質ミリグラム数。

▽水銀＝常温で液体である唯一の金属。湿った空気の中では酸化物になりやすい。人間のような高等動物には著しい毒性を示し、体内に蓄積されると長期にわたって人体をむしばむようになる。

▽PCB＝ポリ塩化ビフェーニルの略。耐熱、耐薬品、絶縁性にすぐれている。体内に吸収されると殆んど排出されず、皮ふや肝臓障害を起す。妊婦の体内に入ると胎盤を経て胎児の肌を黒く変え、死産に至る場合もあるという。



秋の交通安全運動

9月21日〜30日

九月二十一日から三十日までは「秋の交通安全健民運動」の期間です。

このたびは、一人一人が正しい交通ルールの実践を習慣づけるとともに、最も弱い立場にある「こどもと老人」の交通事故を減少させることを目的としています。

期間中は交通安全協会、町議会役場、PTA関係者らが交通指導に当ります。

黄色い杖、黄色い乳母車の老人を見かけたらお互いに注意し、交通事故から守りましょう。

たばこは町内で

軽自動車も車検を

十月から適用、古い車から順次

軽自動車はこれまで車の検査を受けなくても乗ることができましたが、十月以降は順次、車検を受けないと使用できなくなります。

例えば、四十一年末以前に出証を届出ている車は十月中に検査しなければなりません。四十二年中のものは十一月が期限。四十三年一月から七月末までに届出たものは十二月中に車検をすましておかないと年があけてからは乗れなくなります。

このように期限は届出日によってそれぞれ違うので期限の来ないうちに気をつけて検査を受けるようにしましょう。

検査場所は山口県軽自動車検査協会山口検査場（山口市宝町三四三五−二−三）です。

自衛官募集

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
藤重栄治	長男	美雪	7・25	小西
喜多川重治	二男	賢治	7・26	砂三
中野裕允	長男	一浩	7・30	岩前
広瀬　巧	長女	いづみ	8・5	砂一
石田　昇	長男	浩志	8・14	沖ノ原
沖永一夫	長男	健一	8・4	小西
中田憲明	長男	憲吾	8・8	西条
松本逸平	長女	みき	8・11	旦北
藤崎正平	長男	義明	8・17	沖ノ原
村藤文男	長男	一成	8・12	北祝
磯崎英規	長女	圭子	8・21	縄南
村田敏明	長女	裕子	8・20	飛石
松永　保	長女	美香	8・12	沖ノ原
中西武男	二男	武士	8・16	中村
吉村　勲	二女	美智子	8・23	飛石

婚姻（おしあわせに）

杉村　勇	小東
ゆり子（落合）	宇部市大字小串
柄沢　卓	新潟県新潟市
幸子（礒部）	浜

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年齢	部落
本永フジコ	8・6	68	浜表
古川静枝	8・19	34	赤迫
西田政之	8・20	82	縄北
蔵富士節雄	8・22	66	浜
大沢孝子	8・22	52	東
松永百助	8・29	79	引野
浜中利一	8・30	83	小南

役場の窓

◆・厚生省の発表によると昨年のわが国の平均寿命は男子七〇・四九、女子七五・九二歳まででになったとのことです。生まれた人が七〇歳を迎えるのは男子六三%、女子七六%にものぼるともいいます。本町の住民八千余人のうち約一〇%が六十歳以上になります。そうした人たちに真の生きがいを味わっていただくためにはどうしたらよいか、いま政治行政担当者の大きな課題です。一面の老人アンケートの回答の中にその答えの一端が覗いているようでもあります。

◆・毎月のように県外の市町村から本町に視察に来られます。八月は交通対策で宮崎県、庁舎建築の参考にと福岡県内からのお客さんがありました。庁舎に入ってロビーやカウンターに緑と花の鉢が多いこと、町内を巡ると道路の改良が進んでいるのが目につくようです。『都会は人が生きるところ阿知須は人間の住むところ』町を巡りながらそう評されたお客もありました。都市近効の条件にありながら、まだ荒されていないこの環境、守り、育ててきた美しさをこれからもみんなで大事にしていきたいものだと思います。

町民文芸

第52回阿知須短歌会詠草

砂二　渡辺　宮子

岸壁の捨石に休み握り飯食む吾が
足を黒き蟹の這ふ

浜　石田サダ子

夕光のまともに入り来る店先に仕
上げしコートの釦が光る

岩上　上重　朝子

文月下旬秋大豆植へ水かけし後に
雨の来て足長となる

寺河内　兼重　きぬ

端居して月待つ宵の庭先にほのか
にゆらぐ夕顔の花

浜　正司ウメノ

吾が縫ひし浴衣を着たる孫四人は
にかみ乍らカメラに向ふ

飛石　砂村ヤス子

亡き姉に語りかけつつ七回忌少し
陽気に墓地の草とる

縄南　中野　桂子

風強き朝空青く見ゆる時煙の如く
低き雲とぶ

岩西　中本　幸枝

山清水流るる中に小石積み禅昌寺
裏の河原に供養す

岩西　中本　満枝

駅よりの帰りに畠の老婆みて去年
逝きたる祖母を思ひぬ

砂二　橋本　淑子

もうもうと農薬あがる山の端に赤
き夕日の沈むを見つむる

西条　原田　双恵

風わたる畑にひとりもぎたてのト
マト食みつつしばしくつろぐ

砂三　藤永ミツノ

台風のそなへと見えし橋下に太き
ロープで小舟つながり

北祝　部坂　秩子

嘘ひとつ聞きし日の午後くろがね
の南部風鈴町に来て買ふ

砂一　松代　二郎

八幡宮の水頂けば手洗ひに嘉永七
年献と彫りあり

次回は九月十六日（日）午後七時半から兼重きぬさん宅で。詠草締切は十二日。